



▲「この花壇は公園のシンボルになっています」と話す和田さん。

▶春の訪れを感じられるよう、ヤエザクラを植樹。成長し花が咲く日が楽しみです。



▲意見交換会では図面を囲んで話し合いました。



▲西宮の沢やまびこ公園のイメージイラスト。日差しを浴びる設計に、地域でも完成への期待が高まったそう。

案内が配布された時、石墨さんはすぐに参加を決めました。

目指すは、 明るい公園

最初の意見交換会では、市作成の素案を基に、参加者で意見を出し合いました。地域性を反映して、散歩の時の休憩や孫と一緒に遊べる公園がよいという意見が多数を占め、それを軸に公園の内容を考えることにしました。

誰もが強調したのは、見晴らしがよく明るい雰囲気

園。暗い雰囲気の一因であった樹木を伐採し、芝生広場と幼児の遊び場、休憩広場で構成された公園となりました。

参加者の思いが 形になった

最初の意見交換会の結果を受けて、市が作成した図面を見た時、和田功さんは「イメージ通りの案が出てきた」と思ったそうです。

次の意見交換会では、幼児向けの遊具や公園に新たに植える樹木の種類など、細部を話し合いました。多様なアイデアが出ましたが、管理や費用などの制限もあり、市と参

加者で意見を交わしながら実現可能な内容にまとめていきました。地域住民が管理する約束で、休憩広場の中央に花壇を置くことも決まりました。

こうして案がまとまり、工事に着手。公園の改修後、雪解けを待つ平成25年春から花壇に苗を植え育てていきました。

公園の花壇は、近くに住む池田みわ子さんがお世話をしています。池田さんは、さつぽろ緑花園芸学校の卒業生で、さつぽろタウンガーデナーとしてJR手稲駅南口ウエルカムフラワーの花壇造り

や、滝野すずらん丘陵公園のフラワーガイドボランティアで活動中。「公園に来る人に見事な花壇だねと言われ、うれしいです」と微笑みます。

再整備をきっかけに明るくきれいになった西宮の沢やまびこ公園。地域の人々と市の共同作品として、大切に利用されています。

公園再整備事業を利用して再生された公園は、地域のアイデアが詰まっています。公園の個性を見つけに、身近な公園に足を運んでみませんか。

ただ今改修案検討中!!

「地域と創る公園再整備事業」は、毎年1～2件の公園改修を区内で行っています。平成26年度の改修に向けて現在検討中なのは、曙わんぱく公園（曙7条1丁目）と新発寒たんぼぼ公園（新発寒6条5丁目）。どんなアイデアが出ているのか紹介します。

曙わんぱく公園は、8月24日の意見交換会で、盆踊りなどの町内会行事ができる広さのイベント広場を主軸にすることにしました。

新発寒たんぼぼ公園は、「みんなで元気に大きく遊ぶわんぱく公園」をテーマにし、図面を作りました。9月17日の意見交換会では、設置する遊具や管理方針について話し合いました。

どんな公園ができるのか、お披露目が楽しみです。



▲曙わんぱく公園の素案を説明中。

▼新発寒たんぼぼ公園の図面の説明に耳を傾けます。

